

『輝け雪』のまち

ぬまた町

みんなの議会

2026年 8 月
第106号



6月19日 商工会青年部・女性部チャリティービールパーティーアトラクションより

- P2 第2回定例会のおもな議案と補正予算
- P4 町政を問う・5名（5件）が一般質問
- P6 シリーズ検証・「一般質問のその後を追う」
- P7 議会の動き・産福常任委員会からの報告
- P8 特集「これからの沼田町議会を考える」



沼田町議会 検索

令和8年 第2回 定例会

6月18日

令和8年第2回定例会が開催され、産業福祉常任委員会の所管事務調査報告、議会改革調査特別委員会の中間報告をはじめ、町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、5名の議員が5件の一般質問を行いました。

上程されたおもな議案

以下の議案について、全会一致で同意、承認されました。

■専決処分の承認を求める件

- ・道北バス沼田深川線運行準備補助金の確定
- ・町税条例の一部を改正する条例
- ・沼田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■沼田町特別職報酬等審議会条例

■沼田町名誉町民に関する条例の一部を改正する条例

■町道更新線舗装補修工事の請負契約

■緑町団地B棟長寿命化改修工事の請負契約

■沼田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■町営バス運行等に関する条例の一部を改正する条例

■沼田町防災行政無線設備更新工事（子局設備等）の請負契約

■除雪ドーザ購入事業に係る物品の購入

■配水池等計装装置更新事業（更新ポンプ場）の請負契約

■沼田浄化センター耐震補強・屋根改修工事の請負契約

補正予算

一般会計

令和8年度一般会計の予算を2億4726万円追加し、総額を68億4726万円とする補正予算を承認しました。以下は主な事業となります。

■公共交通事業費

- | | |
|---------------------------|--------|
| ・バスロケーションシステム等環境構築委託料、使用料 | 68万円減 |
| ・決済システム構築委託料、使用料 | 770万円増 |
| ・デジタルサイネージ環境構築委託料、使用料 | 160万円増 |
| ・バス運行委託料 | 285万円増 |

国より「交通空白」解消等補助金2664万円を歳入とし、歳出予定であったJR留萌本線代替輸送確保・跡地整備等推進基金への戻し入れを1162万円行い、代替バス運行に係る沿線自治体負担金を355万円減額しました。

■ふるさと納税関連費

返礼品、手数料 2億2000万円増

■学校給食費の財源振り替え 577万円減

道より学校給食費支援事業費補助金が歳入となったためふるさとづくり基金からの繰り入れを減額しました。

■障害児通所等支援費

1472万円増

今年度より事業開始をした沼田認定こども園発達支援室「ぽぷら」への負担金。町の負担割合は1/4の368万円です。

特別会計

和風園のディスプレイ修繕のほか、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療の各特別会計と水道事業会計の補正予算を承認しました。

請願・陳情

下記の2件を全会一致で承認し、関係機関に意見書を提出しました。

- (1) 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める陳情
- (2) ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書提出を求める陳情

人事案件

農業委員会委員の任命に同意しました。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ・吉田 春美 氏 (再) | ・青木 和幸 氏 (再) | ・横山 昌利 氏 (新) |
| ・和泉 浩司 氏 (再) | ・高橋 博紀 氏 (再) | ・加葉田 征二氏 (新) |
| ・中村 宗寛 氏 (再) | ・柴田 明 氏 (新) | ・平山 文博 氏 (新) |
| ・瀧本 則光 氏 (再) | ・吉本 祐司 氏 (再) | ・矢内 真也 氏 (新) |

人権擁護委員の推薦に同意しました。

- ・篠原 毅 氏 (新)

沼田町議会の定例会はライブ配信で！

スマホやパソコンのYouTubeを使って見ることができます。

生中継なので議会の開会中にぜひご覧ください。もちろん議場で傍聴していただくと一番臨場感がありますが、役場ふれあいの1階ロビーにあるテレビでも視聴することができます。

YouTube再生回数
253回でした

臨時会

第4回 4月23日

- 沼田町米穀低温貯留乾燥調製施設米食味分析計購入事業に係る物品の購入について
米食味分析計購入 契約金額 2359万円
- 養護老人ホーム特別会計補正予算
和風園 浴槽ろ過装置更新事業 1695万円

第5回 7月16日

- 特別名誉町民の承認 寺島 実郎 氏 日本総合研究所会長
- 補正予算 中学校空調設備室外機移設工事 176万円



町長、教育長への

一

般 質 問



篠原 暁 議員

重点支援交付金活用で省エネ家電導入促進を

クーリングシェルター増設で対応する



横山 茂 町長

篠原

今国会において令和8年度の補正予算が成立し、その中で重点支援地方交付金として生活者支援メニューに省エネ家電への買い換え促進費用が追加された。

経産省が省エネ基準を引き上げたことにより、旧機種種の製造・販売が終了するため、この夏は駆け込み需要が起こり、安価な機種が入手困難になっている。

新機種との間には数万円の価格差があるが、使用コストが低いので、購入補助をおこなって初期費用を抑えればすぐに元が取れる。

今回の交付金を活用して省エネ型エアコン導入を進めれば、環境対策と熱中症予防に貢献できと思うが町長はどう考えるか。

町長

省エネ家電への買い換えは、温室効果ガス排出削減と熱中症予防に一定の有効性があると認識しますが、交付金の原資が限られることと既設の世帯や購入困難世帯との間での公平性が保てないと考えます。

熱中症予防対策として個別の支援策は困難ですが、クーリングシェルターを増やすことで広く活用していただきたいと思います。

今後の物価高騰状況を踏まえ、町民へ公平に効果が行き渡るように検討し、交付金の活用を進めます。



なかみちカフェに設置された冷房



長野 時敏 議員

太陽光パネルの廃棄をどう進めるか

関係機関と連携して進める

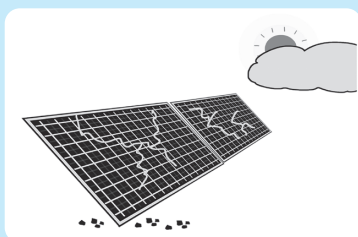


横山 茂 町長

長野

本年4月、国は太陽光電池廃棄物の再資源化等の推進に関する法案を閣議決定した。その概要は、太陽光パネルの大量廃棄に備え、太陽光発電事業者等々にリサイクルの実施に向けた取り組みを義務づけるものとなっている。

今後本町においても太陽光パネルの解体リサイクルが予想されるが、本町の太陽光パネル設置状況をどのように把握しているか。太陽光パネルの廃棄リサイクルに対して、役場のどの部署がいつまでどのように進めていくのか聞きたい。



町長

現在本町には大規模な太陽光発電施設は存在しません。町の補助事業を受けて個人や事業者が設置する小規模な施設は把握していますが、現行制度では太陽光設備設置の事前申請を義務づける規定がないため、すべての設置状況を把握できてはいません。

パトロールやみなさまからの情報提供を通じ、破損や異常が見られる箇所を迅速に把握し、事業者あるいは所有者に適切な管理を促します。

今後予想される太陽光パネルの廃棄あるいはリサイクル処理への対応は住民生活課が担当します。将来的な町内での廃棄需要に備え、ロードマップを含めた検討を進めます。



上野 敏夫 議員

沼田町ビアキッチンの運営状況は

沼田町のPRに効果を発揮している



横山 茂 町長

上野

北広島市に沼田町ビアキッチンが設置されてから1年が経過した。このことにより沼田町の認知度が向上したとする根拠はどこにあるか。

今後球場横に新駅ができたときに来客数が減少する恐れがある。リピーターなど集客増に向けてどのように経営改善を図るのか。

オール北海道ボールパーク連携協議会に参加することによる売上向上効果はあったのか。

当初運営を担ったコンサルタント会社が撤退したことで、今後は北広島市などいろいろな組織と連携を図ることが大切と考えるがどうか。



沼田町ビアキッチンの店内

町長

沼田町ビアキッチンが北広島市に出店したことにより、新たな販路拡大やメディア露出という形で本町の認知度向上に効果がありました。

今後の運営改善に向け、適切な人員配置による効率化、地元食材を使用した魅力的な商品の開発、更なる情報発信力の強化に取り組みます。

オール北海道ボールパーク連携協議会への参画により、自治体周遊型デジタルスタンプラリーなどを通じて本町への誘客促進に期待します。

開業支援を担ったコンサルタント会社には、店舗の運営体制を整えていただきました。今後は利益率の向上と持続可能なビジネス構築に向け、まちづくりぬまと連携しながら取り組んでいきます。



三浦 実希 議員

沼田っ子のスポーツ・文化活動を支える環境づくりを

小学校から中学校まで切れ目のない環境づくりを検討する



三浦 剛 教育長

三浦

少子化の進行により中学校の部活動は地域展開が進んでいる。一方で、小学校のスポーツ少年団や文化活動は、練習や大会での送迎の多くを保護者が担っている。

この時期の経験は中学校以降の活動継続に大きく影響するため、小学校から中学校まで一貫した支援体制が必要ではないか。

小学校のスポーツ少年団や文化活動における活動機会の確保と継続に向けた今後の方向性、移動手段の確保と一貫した支援体制について聞きたい。



教育長

スポーツや文化活動の機会を確保することは、子どもたちの健全な成長や仲間づくりに大きな役割を果たすと考えます。

少子化の進行で小学生のスポーツ少年団や文化活動において、保護者負担が増加していることは承知しています。今後進められる部活動の地域展開も見据えて、小学校から中学校まで切れ目なく活動出来る環境づくりを検討していきます。

今後の地域展開により部活動も地域全体で支える体制作りが求められています。持続可能なスポーツ文化活動の意義や安全管理、財政負担などの課題を整理し、すべての子どもに公平な支援のあり方と子どもたちの移動手段確保を検討していきます。



大沼 恒雄 議員

中東情勢から町民生活を守るには

今後も物価高騰対策を講じていく



横山 茂 町長

大沼

本年2月末に発生したアメリカ、イスラエルによるイラン攻撃から3ヵ月が経った。ようやくアメリカとイラン両政府は戦闘終結に向けた覚書に合意したが、物価高騰に及ぼしてきた影響はすぐに落ち着くわけではない。

本町においても日々の買物の中で食費を削り、生活費を抑えざるを得ないという声を聞いている。今後も町としてどのような施策を持って町民の生活を守っていくのか。

もし国の財政支援が途絶えた後も物価高騰が続いているような場合、町としてどのような政策を持って対応していくのか聞きたい。

町長

停戦合意覚書への署名によってホルムズ海峡が安全になり、物価高を鎮める機運につながることを国民の願いだと思います。

ただ、石油や関連製品が国内市場に行き渡るには3ヵ月以上かかるという話もあります。その間、国や道が何らかの支援策を講じてくれることを願いますが、仮にそれが無かった場合には当然町が対策を講じていきたいと思っています。

まずは北海道によるポイント給付事業の実施状況を見ながら、物価高騰対策を講じていく考えです。



シリーズ検証

第8弾

一般質問のその後を追う

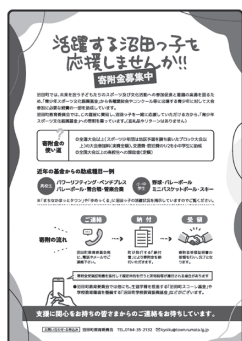
議員が定例会ごとに行う一般質問は、その後どうなったのか。

シリーズ第8弾は令和7年第3回定例会における三浦実希議員の一般質問です。



問 青少年スポーツ文化振興基金の周知と活用強化で、がんばる沼田っ子サポートの充実を。

答 寄附者の意向に沿った基金特定、仕組みや、税金の寄附金控除を含めた周知を検討したい。



★その後の対応（教育委員会 教育課）

ここ数年のスポーツ文化における沼田っ子の活躍は目を見張るものがあり、引き続き多くの町民に感動を与えてくれています。

平成19年に創設しました「沼田町青少年スポーツ文化振興基金」は、都度取り崩している状態ですので、広く町民の皆さまからご支援をいただけますとさらに励みになります。

令和7年9月にご提案をいただいてからすぐにチラシを作成し、10月23日の区長発送にて広報させていただきました。

用途につきましてはご意向に沿うように対応を検討させていただきます。

常任委員会の所管事務調査報告

産業福祉常任委員会 「高齢者福祉施設の将来像」

本委員会は、職員による高齢者福祉施設のプロジェクトチームと課題や意識を共有したいと考え意見交換を行ってきた。現在の規模のまま3施設を維持しても、もしくは集約しても多額な費用が予想されるため、医療を含めた介護施設全般の連携と働きやすい職場環境を整備しつつ、効率化による見直しを行いながら地域包括ケアシステムの新しいビジョンに沿った施設計画が求められる。

本町の福祉政策は農村型コンパクトエコタウン構想で推進している。今後の3施設の運営と方向性を健康福祉ゾーンの拠点である暮らしの安心センター周辺の一体的な活用が、安心、安全に暮らす事ができるまちづくりにつながると考える。

(1) 沼田版CCRC構想と沼田町農村型コンパクトエコタウン構想の融合

令和8年度において沼田版CCRC構想が予算計上され、介護、医療、障害者福祉など地域包括ケアシステムをさらに深化させ、都市部からの高齢者と地域住民とのコミュニティの形成から自立、支援、介護のサービスを提供するとしている。事業推進にあたっては生涯にわたり活躍できるメリットに加え、地方移住の決断を克服できる環境として、社会福祉と魅力ある街づくりの視点を有した整備が必要と考える。

また農村型コンパクトエコタウン構想により建設した暮らしの安心センターや高齢者住宅に、将来における公園整備の必要性を示し、町民の健康や体力増進による健康寿命の延伸と心豊かに暮らせる多世代型の交流拠点として、文化スポーツ振興等町の中心的役割を担う健康福祉ゾーンとして検討を進めることを望む。

(2) 高齢者福祉施設の再編

本町の介護福祉施設は高齢期の最後の砦であることから今後も存続させなければならない。旭寿園は建設から42年経過しているなど、老朽化の観点からも一体化した施設へ集約することが必要と考える。

また、社会福祉協議会との連携強化や、医療を安定的に提供できる沼田厚生クリニックと接続した施設整備が必要である。在宅、通所介護の充実や訪問診療、ターミナルケアなどの機能を強化させ、推計人口や高齢化率に備えた地域密着型老人福祉施設の規模を検討する必要がある。

同時に旭寿園の解体費用の確保と、和風園やなごみの滞在型施設の再利用として障害者福祉施設や住民福祉の向上に資する多様な活用が求められる。

議員研修会

・北海道町村議会議員研修会 7月2日 札幌市コンベンションセンター

講師 関東学院大学法学部地域創生学科 教授 牧瀬 稔 氏

「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」

講師 ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏

「どうなる政治・経済～日本再生のために何が必要か～」

・空知町村議会議長会研修会 7月15日 長沼町総合保健福祉センター りふれ

講師 北広島市 副市長 川村 裕樹 氏

「北海道ボールパークFビレッジ北広島市のまちづくり」

・北空知議会議長連絡協議会議員研修会

7月23日 沼田町ほろしん温泉ほたる館

講師 北海学園大学 経済学部教授 西村 宣彦 氏

「自治体財政の現状・課題と今後のまちづくり」



講演する西村教授

【議会改革特集】

これからの沼田町議会を考える

～議員定数の削減と「なり手不足」の現状～

■議員定数を「9名」に削減する方針を報告

議会改革調査特別委員会では、約3年にわたり「議員定数や議員報酬」について議論を重ねてきました。その結果、次期改選期（令和9年5月）より、現行の定数10名から1名削減し、「9名」とすることを採決しました。4月22日には町民43名参加のもと、これら議論に至った経過を含めて報告しました。



4/22議会報告会

■地方議会を襲う「なり手不足」の危機

現在、全国的に議員のなり手不足が深刻化しています。無投票当選の割合が増加しており、全町村の約3分の1が無投票になる可能性があると言われています。沼田町においても例外ではなく、直近2回の町議会議員選挙（平成31年、令和5年）は連続して無投票という結果になっています。

- ・人口と定数の推移：平成12年に4,436人いた人口は、令和7年には2,746人まで減少しました。これに伴い、定数も14名から段階的に削減され、平成19年から現在まで10名となっています。
- ・議員の高齢化：若い世代の参画が課題となっています。
- ・なり手不足の原因：議員の役割への理解不足、活動に見合っていない報酬額、家族の理解、そして落選リスクや仕事との両立の難しさなどが挙げられます。

■近隣町村との比較（空知管内議会運営状況及び予算調査表、自治体HPより）

沼田町の議員1人あたりの人件費（4,574,000円）や月額報酬（177,000円）は、空知管内の町村平均を下回っている現状にあります。この報酬水準のあり方も、今後の重要な検討課題になります。議会側から理事者側に報酬を諮問する審議会の立ち上げを要請した結果、6月定例会において、特別職を対象とした報酬審議会の設置条例が決定し、審議会が中心となって、今後の取り組みを行うことになります。



議会改革調査特別委員会

■定数削減をめぐる議会内の主な意見

特別委員会では、全議員がそれぞれの立場から意見を出し合いました。

- ・定数削減（10→9）に賛成する意見（5名）：鵜野・伊藤・長野・上野・三浦
 - ▶「2回連続の無投票を受け、定数を見直して住民に議会の姿勢を示すべき」
 - ▶「近隣の同規模自治体の状況（定数8～9名）を鑑みても、9名が妥当」
 - ▶「少数精鋭で、より町民に伝わる活動を行うべき」
- ・現状維持（10→10）を主張する意見（3名）：大沼・久保・篠原
 - ▶「多様な意見を確保するためには、現状の人数が必要」
 - ▶「定数を減らしても、なり手不足の根本的な解消や選挙戦の実施に直結するわけではない」

***議長及び委員長は採決に加わっていません**

***抜粋でまとめていますが、詳細は議会ホームページに10名全員の意見のほか議会報告会や、議会カフェでのアンケート結果が記載されていますのでQRコードから参照できます**



■町民の声：議会カフェ・議会モニターより

町民からは「報酬を上げる方向で頑張してほしい」「女性の参画を促すクォーター制や育休制度の導入を」「定数削減の理由は明確に説明すべき」といった、議会の活性化を期待する多くの意見が寄せられました。



議会カフェの様子

■「信頼される議会」を目指した今後の取り組み

定数を減らすだけでなく、議会自体の魅力を高める取り組みを継続します。

- ・デジタル化の推進：タブレット端末の活用やYouTubeライブ配信による開かれた議会づくり。
- ・多様な人材の確保：主権者教育（中学生議会など）の実施や、仕事と両立しやすい環境整備の検討。
- ・住民との対話：議会カフェやモニター制度を通じ、町民の声を政策に反映させるサイクルを強化します。



畑地委員長

沼田町議会は、これからも町民の皆様とともに、持続可能な町づくりに邁進してまいります

みんなの広場

様々なイベントでいつも盛り上げていただいている
「沼田夜高太鼓」の皆さんにインタビューしてきました。

●夜高あんどん祭りでの責任者 大江 清和さんおおえ きよかずに伺いました。

Q 沼田夜高太鼓は発足してどのくらいですか？

A 昭和57年に発足して、今年で44年になります。ちょうど僕の生まれた年なので忘れません。

Q ご苦労していることはありますか？

A 伝えたい事や表現が上手く伝わらないことです。苦労ではないですがいつも課題と感じています。

Q やりがいを感じるのはどんな時ですか？

A お祭りなどでたくさんの方々に見ていただき盛大な拍手をもらい楽しんでもらっていると実感した時です。喜んでもらいたい、魅せたいというのが生きがいですね。

●表紙の写真のお二人に伺いました。

村中 亜偉琉さんむらなか あいる 9歳（表紙写真左）

Q 太鼓を始めたきっかけは？

A あんどん祭りで見えてカッコ良かったから。

Q やってみて良かった事とこれからどうなりたいですか？

A 友達もたくさんできて楽しいです。これからは大江さんや徳永さんのようにカッコよく太鼓をたたきたいです。

佐藤 明日真さんさとう あすま 6歳（表紙写真右）

Q 太鼓を始めたきっかけは？

A イベントに出たかったからです。

Q やってみて良かった事とこれからどうなりたいですか？

A リズム感がよくなりました。これからはいろいろな太鼓をたたいてみたいです。



夜高あんどんまつりもがんばるぞ～

退任議員との交流

7月6日 退任議員と現職でパークゴルフを行い、懇親会にて交流をしました。暑い中での熱い戦いはまたもや退任議員会の勝利で終わりました。

優勝チーム	退任議員会	
個人賞	1位 津川 均さん つがわ ひとし	2位 杉本邦雄さん すぎもとくに お
	3位 小峯 聡 こみね さとる 議長	



挨拶をする杉本会長

広報特別委員

篠原 暁
畑地 誉
三浦 実希
伊藤 淳

沼田町夜高あんどん祭りは今年で50回を迎える節目の年となりました。お祝いムードの中、記念のイベントも盛り沢山で多くの来場者が予想されています。北海道三大あんどん祭りのひとつで、人口27000人の町に二日間で6万人もの観客を動員します。熱い思いを一つにして50年もの間、継承してきたわが町の誇るべきお祭りです。

また今年もこども園から太鼓の練習の音が聞こえてきます。こうして一年一年繋いでいきたがら「祭り人」がつくられていくのです。

今年も盛り上がりましょう!!
ヨイヤサー

